



岡山大学教育学部附属小学校

令和6年度 学校要覧



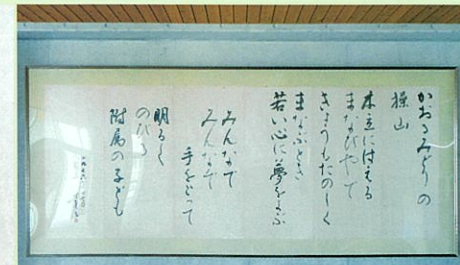
2024

ぼっけえ 楽しい 附属小学校をつくろう!

やさしく

かしこく

すなおに



附属小ってこんな学校

教育目標

人間尊重の精神を重んじ、豊かな創造力とたくましい実践力を身につけた心身ともに健康な子どもを育成する

めざす子ども像

やさしく 人を大切にし、助け合い高め合う子ども
 がしこく 進んで取り組み、豊かに考え工夫する子ども
 すなおに 行為を振り返り、自分への気づきを深める子ども

学級編制・児童数

令和5年4月1日現在

学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
学級数	3	3	3	3	3	3	18
男子	45	51	54	50	48	49	297
女子	60	54	50	52	47	51	314
合計	105	105	104	102	95	100	611

通学区域

- 岡山中央
- 鹿田
- 三 勲
- 旭 操
- 伊 島
- 大 元
- 宇 野
- 幡 多
- 津 島
- 清 輝
- 操 南
- 可 知
- 御 野
- 岡 南
- 操 明
- 芥子山
- 三 門
- 旭 東
- 旭 竜
- 石 井
- 平 井
- 富 山



共に学ぶ



だまってそうじ



おいしく給食

時程表

時刻	月	火	水	木	金
8:25	児童朝礼		朝学習・読み聞かせ等		
8:40	朝の会		1限		
8:50	1限		2限		
9:35	休 けい		3限		
9:45	2限		4限		
10:30	業 間 休 けい		5限		
10:45	3限		6限		
10:50	休 けい		給 食		
11:35	4限		休 息		
11:45	5限		清 掃		
12:30	給 食		5限		
13:10	昼 休 み		6限		
13:30	清 掃		帰りの会		
13:45	5限		帰りの会		
13:50	6限		帰りの会		
14:35	休けい	帰りの会	休 けい	帰りの会	帰りの会
14:45	6限	14:50 委員会 クラブ 16:05	6 限	帰りの会	帰りの会
15:30	帰りの会	帰りの会	帰りの会	帰りの会	帰りの会
15:35	帰りの会	帰りの会	帰りの会	帰りの会	帰りの会

教職員

職名	氏名	担任等	研究領域	職名	氏名	担任等	研究領域	職名	氏名	担任等	研究領域
校長	前田 潔			教諭	酒井 陽子	2い	生活	教諭	中西 亮太	4年副担任主任	理科
副校長	小林 紀彦			教諭	鈴木 麻衣	2ろ・主任	家庭	教諭	西川 梨奈	5い	音楽
教頭	南 再俊		社会	教諭	林 孝太郎	2は	体育	教諭	前橋拳史郎	5ろ	理科
主幹教諭	吉平万里子	教務主任	外国語	教諭	大西 理沙	3い・主任	道徳	教諭	山田明日香	5は・主任	算数
教諭	松本 拓也	実習主任	体育	教諭	福島 康介	3ろ	理科	教諭	藤谷 智也	5年副担任	体育
教諭	稲本多加志	研究主任	国語	教諭	加藤 玖遠	3は	国語	教諭	曾川 雄一	6い・主任	算数
教諭	三村 怜子	コーディネーター	外国語	講師	山本 美紗	3年副担任	音楽	教諭	石下 真由	6ろ	家庭
教諭	加藤絵理佳	1い	生活	教諭	今井 杏菜	3年副担任	音楽	教諭	三宅 詩織	6は	道徳
教諭	貝原 里沙	1ろ	国語	教諭	米本 知芙	4い	音楽	教諭	永井 達也	6年副担任	社会
教諭	磯野 嵩	1は	算数	教諭	松本 佑奈	4ろ	図工	養護教諭	内田 千恵		養護
教諭	美甘 祐子	1年副担任主任	図工	教諭	西 勇帆	4は	社会	栄養教諭	小林摩祐美		給食

職名	氏名	担当
SC	佐田 智子	
SC	小枝 久美子	
SSW	佐菜 万恵	
非常勤講師	満手 光子	外国語
非常勤講師	テレサ・ストックウェル	外国語

職名	氏名	担当
学校医	津島 愛子	内科
学校医	長谷部 聡	眼科
学校医	前田 幸英	耳鼻科
学校歯科医	平野 和幸	
学校薬剤師	西依 貴施	

職名	氏名	職務領域
総括主査	阿部 秀樹	学園総括
事務主任	渡辺 典子	庶務
事務主任	藤谷 晴美	会計
事務職員	林 美沙	庶務・会計
事務職員	荻原 由己	庶務
調理員	井上 修宏	給食
臨時用務員	小見山昌夫	用務
事務補佐員	平松 有	業務支援
事務補佐員	田中 則道	理科助手
学校司書	岩畦 美奈	司書
警備員	白戸 栄次	警備

職名	氏名	職務領域
ICT支援員	信江 輝治	教育支援
教育支援員	妹尾 香子	教育支援
教育支援員	山下 香里	教育支援
教育支援員	菅 真理	教育支援
教育支援員	塩見 直子	教育支援
教育支援員	萬木 祐子	教育支援
技能補佐員	神崎真由美	給食
技能補佐員	松崎 仁美	給食
技能補佐員	神子戸幸江	給食
技能補佐員	山形 幸子	給食
技能補佐員	藤原ちひろ	給食
技能補佐員	川西 妙子	給食
技能補佐員	貫野 星	給食

本年度の教育研究

1 課題研究

(1) 研究主題について

研究主題

「自らの意思で学び続ける子供」

本校では、「人間尊重の精神を重んじ、豊かな創造力とたくましい実践力を身につけた心身ともに健康な子どもを育成する」を教育目標として、その時代を生きるにふさわしい子供像を描き、子供を主体にした授業づくりに努めてきました。

現代は、急激に社会が変化を続ける予測困難な時代です。その時代を生きる子供たちは、前例や慣習が通じず、正解がない問題に直面していくとされています。私たちは、いかに時代が変化しようとも、自ら考えて変化に対応し、多様な人々と協働しながら問題を解決し、自分の人生を切り拓いていくための資質・能力を子供に育てたいと考えています。

その中でも、私たちは「自らの意思で学び続ける力」に着目しました。子供は本来、自らの意思で学び続ける力をもっています。この力を引き出し、高めていくために、「自らの意思で学び続ける子供」を目指す子供像として研究主題に設定しました。目指す子供像の実現には、一人一人の子供がもつ個性や能力差に応じた多様な学びが求められます。そこで、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図ることによって、子供が主体性を発揮して学び続けることができる授業改善に取り組んでいます。

また、学年の実態に応じた「自らの意思で学び続ける子供」の姿と、その実現に向けた取り組みを描いた「学年Vision」を作成しています。学年で目指すVisionを教科部と学年団が共有し、連携を図りながら授業を行っています。

このように、日々の授業を通じて教科等横断的に「自らの意思で学び続ける子供」を育てるための指導方法を模索しながら研究を進めています。



校内研究授業の様子

(2) 一貫教育について

これまでの研究で培われた幼稚園と中学校との連携を考慮した授業づくりも継続的に行っています。幼稚園教育との連携では、幼小接続カリキュラムや本校第1学年で小学校スタートカリキュラムとして従来行われてきた「かけはし学習」を教科等の枠組みで実施する形に再構築した「新かけはし学習」として、幼稚園教員とともに授業実践を通して、学習内容や指導方法を深化発展させています。中学校教育との連携では、中学校教員と定期的に話し合い、小中接続期を中心に授業における具体的な指導内容や指導方法について研究しています。

幼稚園・中学校だけでなく、特別支援学校、学部とも連携し、附属四校園が一体となって共生社会を生きるために必要な資質・能力を育成することにつながるカリキュラム・マネジメントを追求しています。

2 自主研究

本校では、「課題研究発表会」とは別に、「自主研究発表会」を行っています。この会は、教科部が主体となり、提案性を踏まえた授業公開を通じて、地域貢献を図ることを目的としています。昨年度は、4年ぶりに対面で開催し、約400名の参加がありました。協議会では、研究仮説や理論について、実際の授業を通じて参会者と協議することができました。その成果を課題研究同様、日々の教育活動に活かしています。



自主研究発表会の様子

本年度の教育実習

次の世代を担う実践的な指導力を身に付けた教師を育成するために、教育現場を実際に経験する場を設定しています。教育実習生が教育活動全般について理解を深め、教育の本質を会得するために、次のようなねらいを設定し、指導を行っています。



教育実習生の授業

本校における教育実習のねらい

- ▶各課程の実習計画に示されている教育現場で必要とされる具体的な指導を実際に行うことで、学習指導や保健指導、生徒指導、学級経営などの基礎を習得する。
- ▶学習や遊びを通してクラスの子供に接することで、子供に対する理解を深め、子供の気持ちを考える場を経験する。
- ▶大学教育の中で培った教育理論を実際の教育現場で実践することで、教師としての自らの適性を見極める自己評価の場、新たに教育理論を学ぶ意欲を刺激する場とする。

教育実習の概要

本校では、各週において具体的に下記のように教育実習を進めています。

「学校教育教員養成課程 小学校教育・特別支援コース」の場合

第1週	第2週	第3週	第4週
実習への導入 (自主立案授業) 参加・観察	基本実習 (共同立案授業) 授業展開の把握	実習の展開 (専修教科授業) 教科教育法の 実践	実習の総括 (教生経営) 生活指導と 学習指導の実践

「学校教育教員養成課程 中学校・幼児教育コース」の場合

第1週	第2週
実習への導入と基本実習 (自主立案授業) 参加・観察と授業展開の把握	実習の展開と実習の総括 (専修教科授業) 生活指導と教科教育法の実践

「養護教諭養成課程」の場合

第1日～第5日
実習への導入・基本実習 実習の展開と実習の総括



教育実習生と保護者との懇談会

教育実習計画

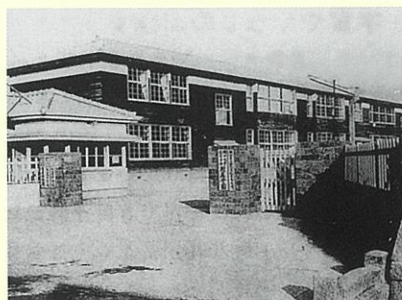
- 学校教育教員養成課程 9/17～10/11 (4週)
 - 小学校教育コース・特別支援教育コース 3年 70名
- 学校教育教員養成課程 10/29～11/22 (4週)
 - 小学校教育コース・特別支援教育コース 3年 68名
- 養護教諭養成課程
4/30・5/1・2・7・8 (5日) 3年 10名
養護教諭特別別科(分散実習)
6/17～24 (6日) 5名
- 副免小学校教育実習(中学校教育コース・幼児教育コース)
6/10～6/21 (2週) 4年 22名
- 2年次観察参加実習
●小学校教育コース 5/9・5/30・10/10 (3日) 155名
- 2年次養護課程観察参加実習
5/8・5/28・10/25・1/29 (4日) 46名
養護教諭特別別科養護実習 5/28 (1日) 23名

附属小学校のこれまで (沿革概要)

- 明治9年4月 岡山県師範学校の附属小学校として、岡山市西中山下に設置された。
- 明治37年4月 岡山県女子師範学校の附属小学校として、岡山市大供に設置された。
- 明治44年4月 岡山県師範学校の移転に伴い、岡山市門田に移転した。
- 昭15年 岡山県女子師範学校の移転に伴い、岡山市西中山下に移転した。
- 昭16年4月 男子附属の校訓を改訂し、校歌を制定した。
- 昭18年4月 それぞれ附属国民学校と改称した。
- 昭20年6月 岡山師範学校男子部附属国民学校、同女子部附属国民学校と改称した。
- 昭22年4月 戦災にあい、全校舎が消失した。
- 昭24年4月 校名を岡山大学岡山師範学校附属小学校とし、男・女附属を門田の現位置に統合した。さらに、児島郡第四福田小学校内に、岡山師範学校女子部附属小学校を設置した。
- 昭26年4月 第四福田小学校内の女子部附属小学校を吸収し、教官だけ移動した。
- 昭34年3月 校名を岡山大学岡山師範学校附属小学校と改称した。
- 昭39年3月 プールが完工した。
- 昭41年12月 本館、体育館新営工事が完工した。
- 昭47年1月 附属小学校創立90周年記念式典を挙行し、次の記念事業をした。
- 昭51年10月 1 校旗、校歌の制定。
2 附属小学校90年史の刊行。
3 在職記念碑の設立。
- 昭55年3月 教育工学室が完工した。閉回路テレビを設置した。
- 昭56年4月 附属小学校創立100周年記念式典を挙行し、次の記念事業をした。
- 昭58年4月 1 記念誌「附小百年の歩み」の刊行。
2 現旧職員在職記念造園。
3 カラー放送設備一式完備。
- 昭61年3月 体育器具倉庫を解体し、新設した。
- 昭62年2月 閉回路テレビをカラー化した。アナライザーを更新した。
- 昭62年4月 文部省開発研究指定により、環境科(第1学年及び第2学年の社会科・理科を廃止)を新設した。
- 昭62年4月 文部省研究開発終了により、環境科を廃止した。
- 昭62年4月 (第1学年及び第2学年の社会科・理科を再導入)
- 昭62年2月 文部省開発研究指定(幼小連携)を新たに受けた。
- 昭62年2月 附属小学校創立110周年を記念し、次の事業をした。
- 昭62年4月 1 記念誌「岡大附小百十年の歩み」の刊行。
2 記念音楽会の開催。
3 第1学年及び第2学年の社会科・理科を廃止し、生活科を新設した。
- 昭62年4月 文部省開発研究を終了した。
- 昭62年4月 全館水道取り替え工事が行われた。
- 昭62年4月 プールが完工した。
- 昭62年4月 附属小学校創立120周年を記念し、次の事業をした。
- 昭62年4月 1 記念誌「百二十年のあゆみ」の刊行。
2 附属小学校発祥の地への記念碑の建立。
3 記念映画会の開催。
- 昭62年4月 給食室の改修工事が行われた。
- 昭62年4月 北門周辺囲障改修工事が行われた。
- 昭62年4月 体育用砂場を施設新営した。
- 昭62年4月 ソーラーシステムを設置した。
- 昭62年4月 校内PCネットワーク(高学年用)を整備した。
- 昭62年4月 文部科学省研究開発学校の指定(幼小連携)を4年間受けた。
- 昭62年4月 附属小学校創立130周年を記念し、次の事業をした。
- 昭62年4月 1 記念誌「百三十年のあゆみ」の刊行。
2 創立百三十年記念式典・記念音楽会の開催。
3 学校図書館システムの改修。
- 昭62年4月 思い出の校舎とお別れする会、校舎さよならオープンスクールをした。
- 昭62年4月 新校舎が完工した。
- 昭62年4月 新校舎落成式を挙行了した。
- 昭62年4月 低学年複式組お別れ全校集会をした。
- 昭62年4月 複式学級お別れ記念式・中学年複式組お別れ全校集会をした。
- 昭62年4月 記念誌「複式教育」を刊行了した。
- 昭62年4月 全校航空写真を撮影した。
- 昭62年4月 体育館竣工式を挙行了した。
- 昭62年4月 校内無線LAN設備を整備した。
- 昭62年4月 創立百四十周年記念航空写真を撮影した。
- 昭62年4月 附属小学校創立140周年を記念し、次の事業をした。
- 昭62年4月 1 記念誌「岡大附小百四十年の歩み」の刊行。
2 創立百四十周年記念式典・記念音楽会の開催。
3 児童用タブレット型端末19台をメディアルームに整備。
- 昭62年4月 GIGAスクール構想による児童1人1台の端末を整備した。
- 昭62年4月 メディアルームを改修し、第2職員室を設置した。
- 令和3年3月
- 令和4年8月



門田校舎(明治44年～)



昭和27年頃の附小校門



鉄筋旧校舎(昭和39年～)



新校舎落成式(平成20年)



体育館竣工式(平成26年10月6日)

附属小の校章の
移り変わり



男子部



女子部



今の校章

年間行事

ぼっけえ楽しい 附属小学校を作ろう!

4月

- 始業式
- 入学式
- 合同参観日
- 個人懇談
- 身体計測・検診
- 遠足



5月

- 合同参観日・PTA総会
- 5年海の学校
- 4年山の学校



6月

- 附属学園運動会
- 体力テスト
- 修学旅行

7月

- 個人懇談
- 終業式



8月

- 始業式

9月

- 家族参観日

10月

- 6年個人懇談
- 開学記念日
- 5・6年合同音楽会
- 1~4年学習発表会
- オープンスクール



11月

- 合同参観日

12月

- 1~5年個人懇談
- 終業式



1月

- 始業式
- 新1年保護者会①

2月

- 研究発表会

3月

- 6年生ありがとう集会
- 卒業式
- 修了式
- 新1年保護者会②



附属小学校 校歌

附属小学校教官 作詞
宮原 禎次 作曲

行進曲のはやさで

1 か お る み ど り の み さ - お や ま
2 な が れ ゆ た か な あ さ - ひ が わ

こ だ ち に は - え - る ま な び や け き よ -
あ ふ れ る ひ - か - り む ね に う け あ -

う も た - の し く ま な ぶ と き わ -
す を め - ぎ し て は げ む と き わ -

か い こ - こ ろ に ゆ め を よ ぶ 1.2 み ん な で み ん な で
か い か ら だ - に ち か ら わ く

て を と っ て あ か る く の - び - ー る ふ ぞ く の こ ど も

一、かおるみどりの 操山 みさおやま
木立ちはえる まなびやで
きょうも楽しく 学ぶとき
若い心に 夢をよぶ

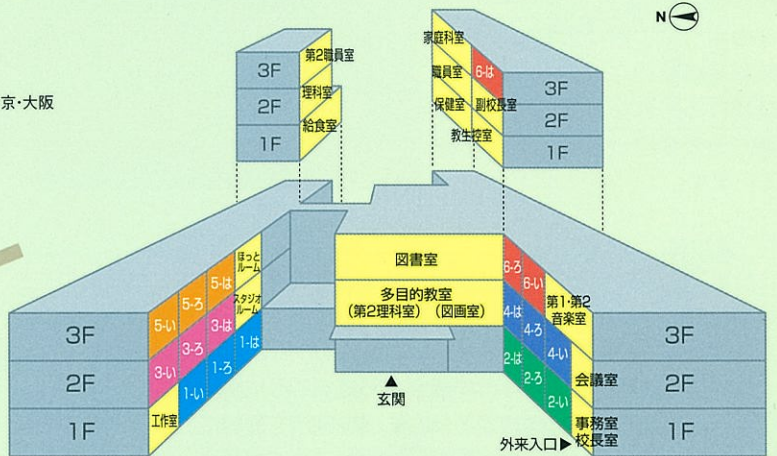
二、流れゆたかな 旭川 あさひがわ
あふれる光 胸にうけ
あすをめざして はげむとき
若いからだに 力わく

みんなでみんなで 手をとって
みんなでみんなで 手をとって
明るくのびる 附属の子ども
明るくのびる 附属の子ども

学校案内図



校舎配置図



岡山大学教育学部附属小学校

〒703-8281 岡山市中区東山二丁目13番80号
TEL 職員室 (086) 272-0511 事務室 (086) 272-0201
FAX (086) 271-3455
URL <http://www.okayama-u.ac.jp/user/fusho/>
E-mail okafusho@okayama-u.ac.jp